

令和 6 年度特色ある学校づくり推進事業報告書

【国際交流・都市と山間教育交流】

学校番号（ 4 6 ） 学校名 豊田市立衣丘小学校

1 テーマ

互いの地域に学び、地域を愛する心を育てよう
～道慈小学校との交流を通して～

2 ねらい

- ・自然豊かな山間部の学校との交流を通して、自然の楽しさ・豊かさを実感し、自然を大切にしようとする気持ちを育てる。
- ・少人数の学校の子どもたちとの触れ合いを通して、人とかかわりあう楽しさを味わい、交流を深めることができる。
- ・都市部のよさ、山間部のよさを友達の姿から見つけ、地域を愛する心を育てる。

3 活動内容

5 月 4 年生は、道慈小学校と交流する前に、社会科の授業を通して、道慈小学区の地域についての調べを行った。

本校の 4 年生が道慈小へ出向き、小原の伝統である紙すき体験を行ったり、五平餅を一緒に作って食べたりして、伝統文化に触れた。また、学区の歴史的な建物を紹介してもらいながらウォークラリーをした。

- 1 1 月 衣丘小に道慈小 1 年生から 4 年生と特別支援学級の児童が来校した。5、6 年生は、到着後の顔合わせの会を担当した。6 年生は、衣丘小が大切にしている「6 つの輪」の説明を行い、5 年生は学校紹介を行った。1 年生から 4 年生までは、各学年・学級に分かれて学習交流などを行った。各学級のパートナーが、道慈小の児童に、美味しいみかんの見分け方や収穫方法を教えながら一緒にみかんの収穫を行うことができた。休み時間には、仲よく交流する姿も見られた。

1 月 交流の成果のまとめを共有した。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・和紙を使った紙すき体験を通して、「小原和紙」という伝統文化に触れ、理解を深めることができた。
- ・交流や調べ学習を通して、同じ豊田市でも都市部と山間部で地域性の違いがあることに気付き、視野を広げることができた。

- ・道慈小から帰着した児童が「楽しかった」「また交流したい」と、笑顔でバスを降りてきて、充実した交流だったことが伺えた。
- ・保護者アンケートの中で、「特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色のある教育活動を行っているか。」という質問に対して、「とてもよい」…37%、「よい」…57%、合計94%の回答を得た。

(2) 課題

- ・5月から11月までの期間で、学習用タブレットを活用して、常時交流ができる体制を整えていきたい。
- ・11月の交流会に、道慈小の5、6年生は参加しなかった。大勢の中に入ることと強い緊張を感じるという理由であった。本校の5、6年生は交流を楽しみにしていたので、とても残念がっていた。参加しない理由をどのように伝えるか難しかった。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・学年通信や学校だより、ホームページなどで、交流の様子を保護者や地域の方々に紹介した。
- ・ホームページには、道慈小学校での交流の様子、衣丘小学校での交流の様子などを計6回紹介した。
- ・これからも、保護者や地域に発信していきたい。